つがる警察署の交通指導取締り重点路線・重点地区（令和７年７月～１２月）

	重点路線・重点地区	指　　定　　理　　由
1	国道１０１号	近年、重大事故の発生は防げているが過去に飲酒運転による複数の死者を伴う死亡事故が発生している。また、過去３年で３件の重傷事故が発生している。本路線は五所川原市の繁華街から鰺ヶ沢町まで続く主要路線であり、交通量も多いことから日中夜間を問わず、取締りを強化して実施していく必要がある。
2	主要地方道弘前柏線	令和４年から令和６年までの３年間、人身事故の発生はないものの、つがる市から弘前市まで続く主要路線で交通量が多く、実勢速度も速いことから速度違反取締りや信号無視の取締りを継続的に実施し、警察官の姿を見せていく必要がある。
3	県道妙堂崎五所川原線	五所川原市から続く路線で商業施設が多く建ち並び、交通量や信号交差点が多い県道である。管内の県道の中で最も事故件数が多く、事故原因は漫然運転によるものが多い。よって信号無視の取締りや警戒走行等の見せる活動を継続的に実施し、事故抑止を推進する必要がある。
4	県道菰槌木造線	近年の事故件数は少ないが木造町内から森田町方向に抜ける路線で交通量が多く、大型トラック等の大型車両の通行が多く見られることから、速度違反取締りや警戒走行等を実施し、事故抑止を推進する必要がある。
5	柏地区	大型ショッピングモールや商業施設、飲食店が建ち並び、管内で最も交通量が多く、事故件数も最も多い地区である。また、昼夜を問わず事故が発生していることから、日中夜間を問わず、交通指導取締りや警戒走行を実施して警察官の姿を見せる活動を強化し、事故抑止を推進する必要がある。
6	木造地区	過去３年では柏地区に次いで事故件数が多く、令和６年は管内で最も人身事故が発生している。また、令和４年と昨年に死亡事故が発生した地区である。本地区は学校が多く、児童や学生の姿が多く見られる。よって、横断歩行者妨害や速度違反の取締り、警戒走行を実施して事故抑止を推進する必要がある。
7	稲垣地区	近年の事故件数は少ないが、過去には死亡事故や重傷事故が発生している地区である。よって、流動取締りや警戒走行など警察官の姿を見せる活動を推進し、重大事故を抑止していく必要がある。

※　重点路線・地区以外の場所であっても、必要に応じて取締りを実施します。

つがる警察署の交通指導取締り方針（令和７年７月～１２月）

	重点路線・重点地区	重点的に指導取締りを実施する違反種別							
		速度超過	信号無視	一時不停止	横断歩行者妨害	飲酒運転	携帯電話・シートベルト	通行禁止	自転車
1	国道１０１号	○	○			○	○		○
2	主要地方道弘前柏線	○	○	○		○	○		
3	県道妙堂崎五所川原線		○	○		○	○	○	
4	県道菰槌木造線	○	○	○	○	○	○		○
5	柏地区	○	○	○	○	○	○		○
6	木造地区	○	○	○	○	○	○		○
7	稲垣地区	○					○		

※　重点以外の違反種別であっても、必要に応じて取締りを実施します。